



『パレートの法則 (2:8の法則)』

大泉支部
長野 敏明

パレートの法則とは、「2:8の法則」とも呼ばれていて、顧客全体の2割である優良顧客が売上の8割をあげているという法則のことらしいです。全ての顧客を平等に扱うのではなく、2割の優良顧客を差別化することで8割の売上が維持でき、高い費用対効果を追求できるとも言われているそうです。現代でよくパレートの法則が用いられる事象が下記のような内容です。

- ・ビジネスにおいて、売上の8割は全顧客の2割が生み出している。よって売上を伸ばすには顧客全員を対象としたサービスを行うよりも、2割の顧客に的を絞ったサービスを行うほうが効率的である。
- ・商品の売上の8割は、全商品銘柄のうちの2割で生み出している。
- ・売上の8割は、全従業員のうちの2割で生み出している。仕事の成果の8割は、費やした時間全体のうちの2割の時間で生み出している。
- ・故障の8割は、全部品のうち2割に原因がある。
- ・住民税の8割は、全住民のうち2割の富裕層が担っている。
- ・プログラムの処理にかかる時間の80%はコード全体の20%の部分が占める。
- ・全体の20%が優れた設計ならば実用上80%の状況で優れた能力を発揮する。

私は「パレートの法則」を肯定も否定もするつもりは御座いませんが、「2:8の法則」に興味を持ちました。ある時ある方が会話中で言った言葉が気にかかったからです。その方が言うには、「2割の努力と8割の運だ。」そうです。どのようなことなのか聞いてみると、運だけは努力しても寄って来ない目の前にある運も気づかないと通り過ぎてしまうそうです。

だから、その方は毎日一生懸命働いて仕事が終わったら、速攻で飲食店に幸運探しの旅に出るそうです。そして、必ず24時前には帰宅するそうです。なぜですかと聞いたら深夜と泥酔者には幸運は無いそうです。あるのは事故と怪我の不運だけだそうです。

後日、その方の奥様に偶然お会いしたので、御主人様には大変お世話になっております。と、ご挨拶をしたら「うちの人アホでしよう」って仰って、真面目に聞いていた私は悲しい気持ちですが、その方の家族の愛を感じました。

「2:8の法則」。。。勘違いの話でした。。。皆さんに幸運を。。。

次回は、館林支部の関根千代子さんにリレーいたします。

随筆リレー



『技術の進歩』

新田支部
荒木 義貴

新田支部の荒木義貴と申します。仕事は土木公共を主体とし、解体やご家庭でお困りの小さな民間工事を受注し、地域に貢献できるよう仕事に邁進しています。

話は急に変わりますが、こんなに長く続くと思っていなかった新型コロナウイルス感染症の影響で様々な団体で人が集まる事が出来なくなり、定期的に行われていた会議も行う事が出来ず、横文字で書いてあるだけで難しく捉えていて、私には関係が無いと思っていたスマートフォンやパソコンを使ってのWeb会議に参加する機会があり改めて技術の進歩を感じました。

仕事に置き換えてみると、遙か昔の事を思えば地面を掘るのに道具を使う様になり、人力での作業は過酷で大変な作業だったと皆様も容易に想像ができると思います。そんな過酷な作業を楽にする為に建設機械が開発され、現在は穴を掘るだけでも様々な掘削機械があり、昔の人が苦勞した分だけ世の中が便利になっている事を感じる事ができます。

私の会社は祖父が昭和38年に起業し、昭和50年に会社組織へと変更して今年で58年になり、祖父が健在の頃よく言うてましたが、自分が仕事を始めた頃は工具や機械なども今ほど充実していないので、特に河川工事では玉石を積んで護岸を造っており、同じ寸法の石を探すのは難しく、重たい石を持ち上げ一つずつ組み合わせ石を積んでいく大変な仕事だったが、同じ寸製品を重ねる事が出来る施工性の良いコンクリートブロック積みへと変わり、「時代は変わったな、便利になったな」と喜んでいました。

私が入社した頃も、現場管理用のカメラはまだフィルム式で一つの工事で数千枚の写真を撮影し、現像に出して写真帳に1枚1枚手作業で入れて説明する為の添え書きもテプラを使い貼っていたので写真帳だけで10cmのファイルに数冊に分けて写真を管理していましたが、デジタルカメラの普及で撮影した写真も現像することなくパソコンに取り込み、データで提出する電子納品がほとんどとなり、最新の技術ではドローンを使って現場を3次元測量して情報を建設機械に入力する事で計画高より深く掘る事が出来ない様に制限する事ができ、碎石を均一の高さで敷きならす事や、必要な地面の硬さが得られるように締固め機械が設計面に何回機械が移動したかデータで管理する事が出来る技術も開発されています。

これからも、もっと便利な技術が開発されると思いますが、取り残されない様に精進したいと思います。

次回は、明和支部の今成隆さんにリレーいたします。